

## 七間朝市を利用した人の意見 (アンケートの結果から)

朝市の良い点としては、市内外の人から次のような声がありました。

- ▶野菜などが新鮮である
  - ▶商品が安全で安心である
  - ▶出店者と触れ合いがある
- 一方、課題を投げ掛ける声もあります。
- ▶店の数や品ぞろえが少ない
  - ▶活気がない
  - ▶若い出店者が少ない

市内の人から「品質に疑問があるものがあるのではないか」という不安が訴えられ、市外から訪れた人は「駐車場が分かりにくかった」「その場で食べられるものがない」と問題視していました。また市内の利用者からは「値段が高い」という声がありましたが、逆に市外の利用者からは「安い」と評価する声がありました。

出店者の一人、福田敏男さんは「七間朝市の出品数を増やしたいと思っています。市民の台所として活用され、地域の皆さんのがコミュニケーションを図る場として愛用されるよう素朴さを大切にしていく必要がありまですね。まちなか観光の中心を担う活気と魅力がある朝市を目指していきます。市民の皆さんが七間朝市に足を運び、全国に誇ることができるように盛り上げていきたいですね。」と意気込みを語っていました。

七間朝市は三月二十日に再開します。

問 農林振興課生産振興係  
(☎ 66-11111内線3115)



越前おおの冬物語に合わせ特別開催した七間朝市（2月8日）



市民によるドングリ植え（昨年10月12日 どんぐりーン広場）

越前おおのエコフィールド事業の活動拠点は、環境保全活動をしみながら実践する場として稻郷に整備されています。市や関係企業で構成する管理運営協議会がその愛称を十月から公募したところ、市内外から二百七十六点の応募がありました。選考の結果、上庄中二年の杉山凌君の作品「どんぐりーン広場」に決定しました。

杉山君には一月十六日、市長か

ら感謝状と盾、記念品が贈呈されました。杉山君は「エコフィールドでは苗木を育てていることから、ドングリの言葉を入れ、緑がたくさんあるイメージを出しました。選考されたことにびっくりしましたし、少し恥ずかしい気もします。身近な自然を大切にしていかなければいけないと改めて感じました。みんなが大好きな場所になつてしまいですね」と話していました。

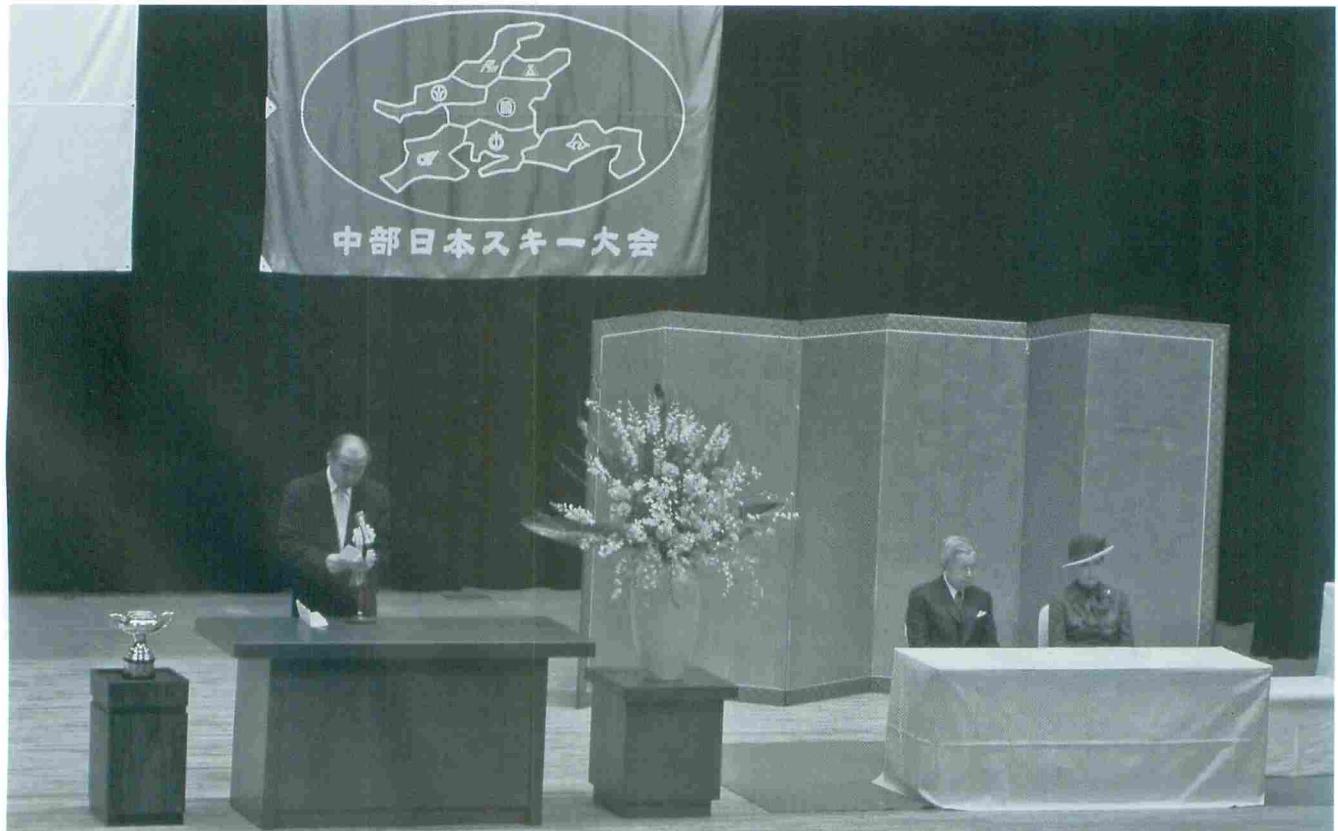


**「どんぐりーン広場」決定**

杉山凌君の作品

エコフィールド 愛称

# 常陸宮ご夫妻がご観覧 第59回中部日本スキー大会開催される



常陸宮賜杯第五十九回中部日本スキー大会が一月二十六日から二十八日まで、常陸宮ご夫妻をお迎えし、九頭竜スキー場とDAI-INOUEスポーツランドで開かれました。

## 殿下が開会式で選手激励

初日の二十六日に文化会館で開会式が行われました。開会式では、大会長あいさつを新屋則男副大会長が代読し、

岡田市長の「歓迎の言葉」の後、常陸宮さまが「中部の頂点を目指して頑張ってください。競技だけでなく、県の枠を超えて交流し、友情の輪を広げられることを願っています」



## ご夫妻が競技ご観覧

二日目の二十七日、アルペン競技は九頭竜スキー場で、クロスカントリー競技はDA

スキー場で、九頭竜スキー場で、クロスカントリー競技はDA

ス」と選手を激励されました。四百八人の選手を代表し、アルペン競技に出席する大野高校の三嶋真世さんが「日々の練習の成果を発揮し、最後まで力いっぱい競技します」と力強く宣誓しました。その後、有終会館でお茶会が開催され、常陸宮ご夫妻もご出席。各県選手団の抱負をお聞きになり、和やかなひとときを過ごされました。



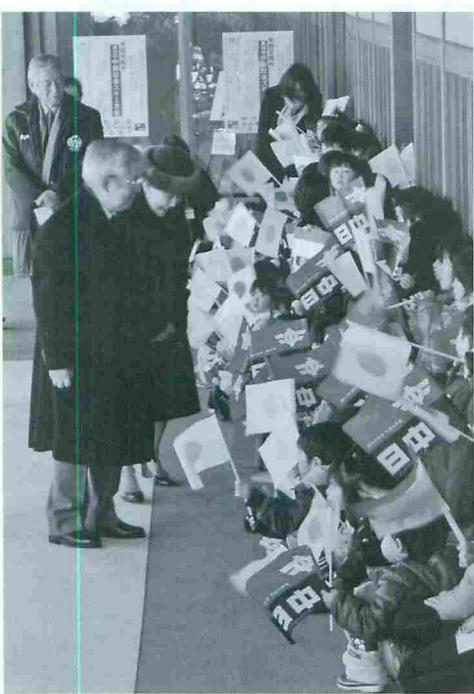
INOIスポーツランドで行われました。常陸宮ご夫妻は両会場で観覧されました。競技を終えた選手に直接ねぎらいの言葉をおかけになり、華子さまは選手と握手を交わされる場面もありました。ご観

察。大型シジミの化石などを熱心にご覧になりました。

INNOIスポーツランドで行われました。常陸宮ご夫妻は両会場で観覧されました。競技を終えた選手に直接ねぎらいの言葉をおかけになり、華子さまは選手と握手を交わされる場面もありました。ご観

## 多くの市民が見送り

最終日の二十八日、常陸宮ご夫妻は本願清水イトヨの里を観察されました。館内からイトヨを観察されていると、偶然にもカワセミが水面近くまで降りてきて、ご夫妻は驚かれたものの、うれしそうな表情を浮かべられていきました。同施設には開成保育園児約八十人や多くの市民が訪れました。園児は「また大野へおいでください」と元気よく声をそろえ、帰京されるご夫妻を見送りました。



競技には地元勢も参加。成年男子A・大回転では山本幸臣選手が優勝。距離クラシカルとフリーで成年男子B・松本高志選手が準優勝。三位には、回転で成年男子A・山本幸臣選手、大回転で少年男子・谷直人選手、同女子・阪井愛理選手、距離クラシカル成年男子C・橋本清高選手が入賞するなど地元・大野市の選手が好成績を収めました。

## 地元・山本選手が優勝

閉会式は農林業者トレーニングセンターで行われ、次期開催地の富山市へと大会旗が引き継がれました。



## 新着図書

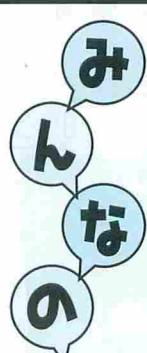
### 【フィクション】

風花病棟（帚木蓬生）利休にたずねよ（山本兼二）おはぐるとんぼ（宇江佐真理）珈琲屋の人々（池永陽）蛇衆（矢野隆）

### 【絵本】

はじめての果物づくり（杉本明夫）どうせ、あちらへは手ぶらで行く（城山三郎）6歳のお嫁さん（鈴木中人）自己チュー親子（諷諭哲二）

おいしいおと（三宮麻由子）門ばんネズミのノーマン（ドン・フリーマン）ことりのピコ（ぞいかや）この世でいちばんすばらしい馬（ジャン



## 図書館

## 読書のススメ

『河童芋銭』  
小説小川芋銭  
正津 勉 著  
河出書房新社



大野市出身の詩人である著者が、小川芋銭の生涯を描いた初の評伝小説を紹介します。芋銭は幼少のころ、虚弱で持病に悩まされ11歳で丁稚に行き、苦労しながらも絵を描き続けました。新聞社に入社し、漫画や挿絵の仕事を経て後に横山大観の目に留まり、画家の道を歩みます。自然と河童を愛し、独自の世界で筆を執った日本画家の姿を近代日本の歴史を背景に描いています。



## ぐるーぶ登場

とも  
灯そつ会



越前おのの冬物語運営スタッフとして参加したメンバー 2月7日

# 市民のページ



## 若者たちで大野を明るく元気に

若者たちで大野を元気付けようと平成十九年四月に結成された「灯そつ会」は、「おの城まつり」などのイベントに自主企画を立案して積極的に参加しています。昨年五月二十五日に開催された「第44回越前大野名水マラソン」では、各公民館の青年担当職員と連携してバンド演奏によるランナーの激励、家族や友人の応援メッセージを集め披露するなどして大会を盛り上げました。

活動二年目の平成二十年度は、参画するイベントをさらに広げ、お笑いで全国交流を目的に十一月八日に開かれた「お笑いプレーオフ」や二月七・八日に開かれた「越前おのの冬物語」にも参加。また三月二十日に開催される「キマグレンライブ」では運営を手伝う予定です。

「ともに話そう、そして大野に灯そう熱い想いを」の

キヤッチフレーズをもとに結成当初五人だったメンバーは友だちの輪の広がりで現在十人まで増えています。活動は学びの里「めいりん」で基本的に月一回ですが、イベントが近くなると週に二回集まり企画を練り上げていくとのこと。また、反省会では「来年はこうしよう」と積極的な意見が多く出るそうです。

結成当初からのメンバー南香奈枝さんは「大野が大好きです。イベントに参加していくうちに、大野への愛着がいつも強くなりました。会の活動が盛んになり若者の交流

がさらに大きくなればいいですね」と話してくれました。

あなたも紙面に参加しませんか。希望する方は  
情報広報課まで ☎ 0779・66・1111



くうちに、大野への愛着がいつも強くなりました。会の活動が盛んになり若者の交流がさらに大きくなればいいですね」と話してくれました。

【広告欄】

# 広告スペース



野尻 秀郷さん（横枕・35歳）

野尻さんは大野市消防団第2分団に所属する消防団員です。昨年の7月19日に開かれた消防操法県大会に、小型ポンプ操法の部で市代表として分団員6人で出場。見事に優勝して、10月12日に開かれた全国大会に出場しました。また、11月8日に開かれた福井県消防団員意見発表会では、全国大会出場までの苦難や仲間との信頼関係など操法訓練を通じて得た貴重な体験などを発表。最優秀賞に輝き2月25日、全国意見発表会に県代表として出場しました。

2つの全国大会に出場した野尻さんに感想や消防団への思いなどについて聞きました。

#### ——2つの全国大会に出場しての感想は

厳しい訓練や人前で話すという普段味わうことがない緊張感など、きついこともたくさんありました。しかし団員などと部活動の仲間のような強い絆を手に入れることができたことは、自分の大切な財産になったと思っています。

#### ——小型ポンプ操法の訓練は大変でしたか

県大会に向けて5月中旬から訓練が始まり、6月に入ると日曜日以外毎日訓練でした。早朝4時半から1時間30分程度の訓練は体への負担も大きく、「なぜこんなことが

こんにちは

必要なんだ」と思い始めたんです。団員同士の関係もうまくいかないときもありました。そんなときに選手と指導員の懇親会があり、思い切って自分の意見をぶつけました。その時指導員から「消防っていうのは1本のホースにいくつもの命がつながっている。ホースをしっかりと伸ばして外れないようつないで、1秒でも早く水を送らんとあかん。現場でいい加減なことをやってたらみんな死んでしまう」「仲間と命をつないだ1本のホース。だから仲間を信頼して前へ進むことができる。これが本当の絆といふもんや」と激励されました。また操法大会出場者は6人ですが、2分団員約50人や消防署員、他の消防団の人たちが毎朝の訓練に来てサポートしてくれたことは、大きな励みになり頑張ることができました。

訓練が厳しかったこともあり、県大会で「優勝、大野市消防団第2分団」のアナウンスを聞いたときの感激は生涯忘れることがないと思います。訓練がなくなってしまったことは、寂しいですね。

#### ——消防団への思いは

火災がないことは一番ですが、全国大会を目指して訓練を続けたことで大きな自信になりました。これから入団してくる若い団員たちに自分の経験や仲間との強い“絆”を伝えたいですね。

#### ※小型ポンプ操法

定位置にある小型ポンプから1本20㍍のホースを3本延長し、放水で標的を倒すまでの時間と正確な行動を競います。野尻さんは班長として、放水指揮の役割を担いました。



#### 【広告欄】

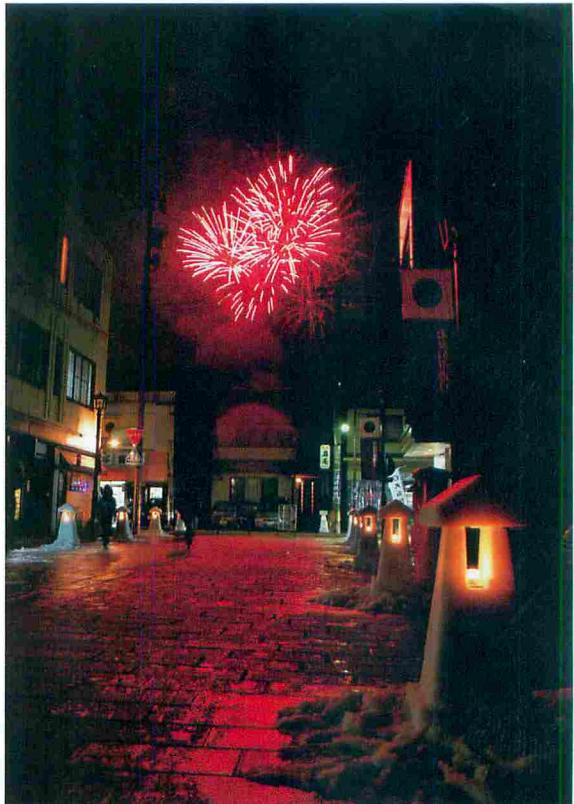
# 広告スペース

# 冬を彩る幻想的な明かり

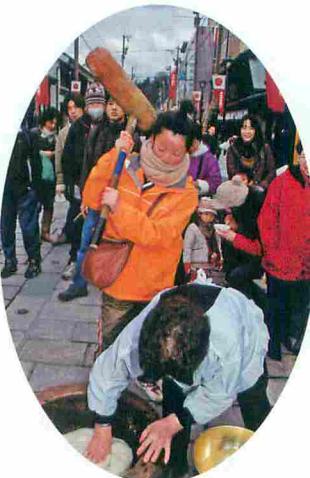
～七間朝市も特別開催～

「越前おおの冬物語」が2月7日から8日にかけて、七間通りなどで開かれました。ミニ灯ろうを組み立てて作られたモニュメント「雪灯祈光」や150基の雪見灯ろう、花火の光がまちと人々を優しく包みました。

また、8日には七間朝市を特別開催。のっぺい汁とつきたてもちが無料で振る舞われ、七間通りは多くの人で賑わいました。



7日の午後から実行委員会のメンバーや子どもたちがかまくら型のミニ灯ろう1000基を積み上げて制作し、幻想的な光を放った雪灯祈光



人気を集めたのっぺい汁とつきたてもちの無料配布

話題のひろば

# 話題のひろば

## 有機農法講演に150人超!!

越前おおの・阪谷有機の里づくり推進協議会が主催した有機農法の講演会が1月19日、市役所で開かれました。

農業関係者ら約150人が参加し講演後も積極的に質問するなど、食の安全が叫ばれる中で関心の高さがうかがえました。



古紙を丸めた“豆”で鬼退治（2月3日 上庄保育園）

## 火遊びしません!!園児が約束

2月2日から4日まで市内6保育園で、消防署員による防火寸劇と豆まきが行われました。悪いことをした鬼に豆を投げて退治し、「火遊びはしません。悪いこともしません」と元気に大きな声で約束しました。



## バレンタイン向けチョコ菓子づくり

バレンタインデーに向けてのチョコレートを使った菓子づくり教室が農村婦人の家で2月3日、有終会館で2月7日に開かれました。参加者は菓子づくりとともにラッピングにも熱心に取り組みました。



農村婦人の家の教室には19人が参加。生チョコとマドレーヌ中黒ショコラを作りました

有終会館での教室には13人が参加。ガトーショコラと生チョコバーに挑戦しました



# 笑顔！で「いただきます」②

## ひじきサラダ



### 作ってみよう

- ①ひじきは洗ってもどしておく。ハムとキュウリは千切りにする。
- ②キャベツは短冊切りしてゆでる。
- ③ひじきに調味料Aを加えて煮る。
- ④下煮したひじきとキュウリ、キャベツの水気を切る。
- ⑤④をマヨネーズである。



### 材料(1人分)

- ・ひじき 3グラム ハム 10グラム
- ・キュウリ 10グラム キャベツ 30グラム
- ・マヨネーズ 5グラム
- ・調味料A(砂糖 0.5グラム みりん 0.5グラム しょう油1.5グラム 水 3cc)

子どもたちの健康を支えている給食献立から「ひじきサラダ」を紹介します。

## 給食かりもれ一品

### 達人のワンポイントアドバイス

ひじきに必ず下味を付けましょう。不足しがちな鉄分をとるにはよい1品で、子どもたちも食べやすいと思いますよ。



(ハッピーライフ\*  
飼由紀子さん)

\*市内の学校給食業務委託先



## 市民のうごき

平成21年2月1日現在

世帯数	12,182世帯(-30世帯)
人口	38,205人(-57人)
〈男〉	18,223人(-15人)
〈女〉	19,982人(-42人)

### ◆1月中の内訳

転入 44人 出生 22人  
転出 71人 死亡 52人

八日に開催された「越前おの冬物語」の取材で、まちなかを歩きました。いつも見ているはずの風景が、歩いてみると新しい発見が多くあります。碁盤目状に区切られたまちなかや寺町通りをてくてく歩いて、御清水でのどを潤す。「大野はいいところだね」観光者たちから評価される理由がなんとなく分かる気が…。三月二十日には「七間朝市」も再開!! 暖かい陽気に包まれて、てくてく歩いてみませんか(小島)



## 編集後記

二月七日

八日に開催された「越前おの冬物語」

の取材で、まちなかを歩きました。

いつも見て

いるはずの風景が、歩いてみると新しい発見が多くあります。碁盤目状に区切られたまちなかや寺町通りをてくてく歩いて、御清水でのどを潤す。「大野はいいところだね」観光者たちから評価される理由がなんとなく分かる気が…。三月二十日には「七間朝市」も再開!! 暖かい陽気に包まれて、てくてく歩いてみませんか(小島)

かに頬をなでる風はやわらぎ、野山にも春のいぶきが。だが、世界的な経済不況の嵐はますます拡大し、視界はいまだ晴れないまま。つい先月まで「忙しい!!」を連発していた友がひょっこりやって来て、仕事が減り自宅待機中だと嘆く。自動車業界や電機各社の業績も総崩れとなり、連日のように新聞紙面におどる不況関連の見出し。思わず長いため息が…。春の陽気とは裏腹に、天下の財政も庶民のふところも冷え切っている▼ところがである。桃の節句に欠かせない「ひな人形」。こちらは以外にも不況知らずで、売り上げが前年を上回った店では嬉しい悲鳴が。売れ筋は場所を取らないコンパクトなタイプで、お内裏さまとおひなさまだけの「平飾り」、三人官女付き五体セットの「三段飾り」に人気が集中。先行き不透明な時代だからこそ、かわいい子や孫の成長と幸福を願う祖父母らの想いもひとしおだったと見える▼オバマ大統領は言った。求めるばかりではなく、再生に向け一人一人が責任を持つ時代だと。子どもたちの未来に国境はない。総力でこの苦境を乗り越え次代につなげねば、人間界の長い冬をぬりかえるよう、例年よりひと足早い桜前線が南の地から動き出そうとしている。(羽生)



かに頬をなでる風はやわらぎ、野山にも春のいぶきが。だが、世界的な経済不況の嵐はますます拡大し、視界はいまだ晴れないまま。つい先月まで「忙しい!!」を連発していた友がひょっこりやって来て、仕事が減り自宅待機中だと嘆く。自動車業界や電機各社の業績も総崩れとなり、連日のように新聞紙面におどる不況関連の見出し。思わず長いため息が…。春の陽気とは裏腹に、天下の財政も庶民のふところも冷え切っている▼ところがである。桃の節句に欠かせない「ひな人形」。こちらは以外にも不況知らずで、売り上げが前年を上回った店では嬉しい悲鳴が。売れ筋は場所を取らないコンパクトなタイプで、お内裏さまとおひなさまだけの「平飾り」、三人官女付き五体セットの「三段飾り」に人気が集中。先行き不透明な時代だからこそ、かわいい子や孫の成長と幸福を願う祖父母らの想いもひとしおだったと見える▼オバマ大統領は言った。求めるばかりではなく、再生に向け一人一人が責任を持つ時代だと。子どもたちの未来に国境はない。総力でこの苦境を乗り越え次代につなげねば、人間界の長い冬をぬりかえるよう、例年よりひと足早い桜前線が南の地から動き出そうとしている。(羽生)